

# 県民署名を成功させようニュース

発行: ふるさとと子どもの未来を考える敦賀の会 No.3 2014.11.29

## 「再稼働はやめてほしい」市民の声を知事へ！ 市長へ！

「もう動かすな原発！福井県民署名」の署名運動に取り組むため、7月21日に「ふるさとと子どもの未来を考える敦賀の会」を発足して四ヶ月がたちます。

この間、敦賀市独自のタイトル「ずっと敦賀にいたいから」「子どもたちにふるさとを残したい」等の署名用紙を作り、「みなさんの声をお聴かせ下さい」と、対話をする運動としてアンケートとともに署名に取り組んできました。

9月、10月は北地区、西地区を軒並み訪問し、署名のお願いをしました。日中でお留守が多いですが、対話できた方で3、4人に1人が署名を書いてくれました。

断られるお宅もありますが、「身内が働いているから、原発には反対やけど署名はできない」という方が多かったです。

11月からは、多くの市民に署名運動を宣伝するため、西地区、南地区を中心に署名用紙とリーフレットとアンケート用紙、返信用封筒を軒並みポスティングしています。

11月末までに、61通78筆の署名とともに、「原発をなくして欲しい」「絶対に安全なんてない」「子どもや孫がかわいそう」など、ビッシリと書かれたアンケート用紙が返ってきています。

全県で40,000筆超の署名が集まっています。敦賀でも多くの署名を集め、原発再稼働に固執する西川県知事に提出しましょう！

また、12月には、市民から寄せられた声を敦賀市に提出します。ぜひ、署名とともに市民の声をお聞きするこの運動に、多くの方のご協力をお願いします。

## 返信されてきたアンケートに書かれた「声」

どんなに点検しようが、安全だと言おうが、福島の様にならないとは言えません。物事に「絶対」という事はありません。何ををもって安全と言えるのか。絶対安全はないのです。(60代 女性)  
福島の事故以来明日は我が身だと心の準備はしております。孫たちは東京の大学に行っておりますが、敦賀に帰るつもりはないと話しております。近所には原発関係に勤務する方がたくさんおられますので何も話は出来ません。再稼働とめてください。(80代 女性)

原発関連の仕事をしているので表には出れませんが、これ以上の原発はいりません。再稼働絶対反対です。敦賀は全国にさきがけて稼働をとめて廃炉にする事、その後の仕事や廃炉には何年もかかると思いますので、先頭にたって廃炉の現状、それを活かす方法を研究開発の先駆者として大学で学ぶように働きかけたり、医療の研究に使用するとか、全国にアピールして研究者、開発者を、どんどん敦賀をモデルに使用してもらえるように働きかけをして頂きたいと思います。(60代 女性)

福島に海に流出している放射性物質。それに敦賀にいっぱいあるドラムカン。トイレなきマンション。また動き出すと心配。配管痛んでいると思う。孫たちの事心配です。(70代 女性)

